

生活雑排水処理の概要

生活雑排水処理業務の経過

1

昭和48年

生活雑排水簡易浄化槽設置補助金制定

⇒設置を促進

昭和52年 新築家屋⇒設置義務化

昭和59年

生活雑排水簡易浄化槽清掃事業補助金制定

⇒定期清掃の促進

平成14年 設置補助金廃止⇒下水道の普及

生活雑排水汚泥処理施設

2

直営施設

長野市生活雑排水処理場⇒H17. 2廃止

民間施設

信濃理化学工業(株)⇒H17. 4全量委託

地区別収集事業者

3

(株)長野県汚泥処理
センター

⇒

更北(真島・川合除く)・
七二会・信州新町

信濃理化学工業(株)

⇒

松代町大室・若穂・
豊野

長野市生活環境協
同組合

⇒

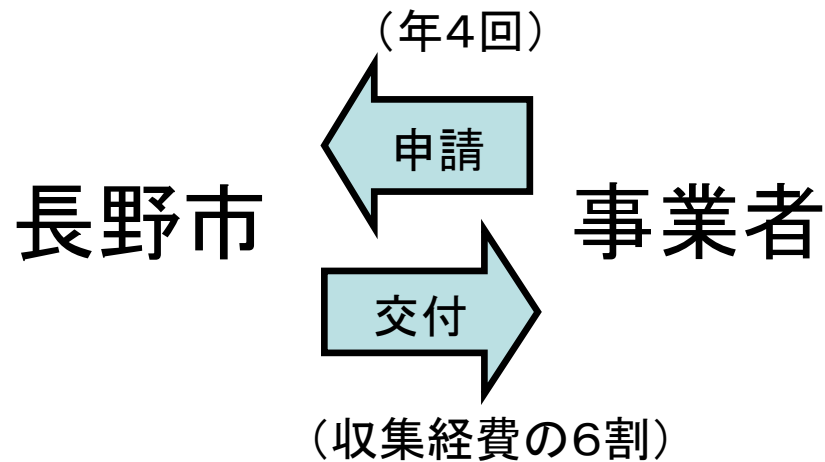
上記を除く全地域

※戸隠、鬼無里、中条地区は設置なし

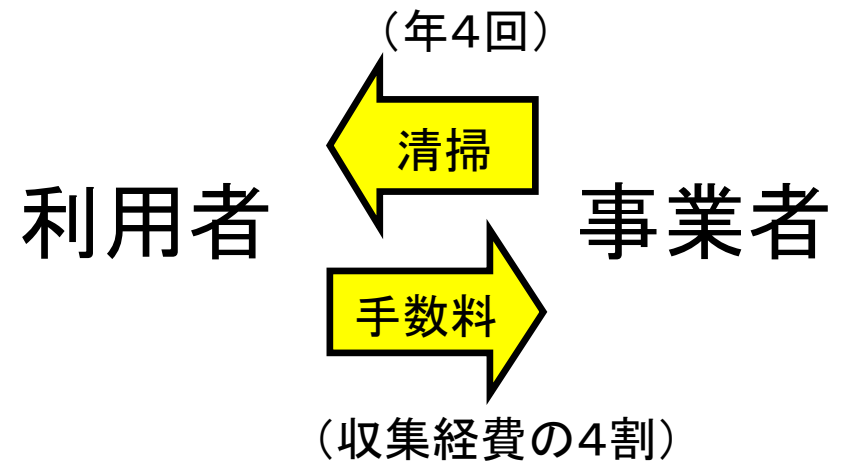
収集方法

4

補助金



収集(許可)



生活雑排水処理手数料

5

許可事業者 ⇒ 定期的に年4回収集

負担割合 ⇒ 4割(手数料) 6割(補助金)

手数料

⇒

容量	手数料
100ℓ未満	550円
100ℓ以上150ℓ未満	716円
150ℓ以上200ℓ未満	880円
200ℓ以上 50ℓ毎に加算	165円

生活雑排水汚泥の処理体系

6

